

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成30年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
1. 事業名：	始良地区三師会（医師会・薬剤師会・歯科医師会）による糖尿病・歯周病連携事業
2. 申請者名：	公益社団法人 始良地区歯科医師会 会長 宮崎 洋一
3. 実施組織：	始良地区歯科医師会、始良地区薬剤師会、始良地区医師会
4. 事業の概要：	<p>糖尿病治療薬を服用している方々を対象に、歯周病のセルフチェックを実施し、歯周病の罹患が疑われる場合、歯科の受診を勧奨する。受診者に歯周病検診及び個々の進行状況に対応した治療を開始し、同時に、糖尿病手帳を用いた糖尿病主治医との連携を行う。事業実施後、受診患者数、糖尿病手帳の利用状況、患者動向について集計し、次年度以降の事業の検討の基礎資料とする。</p>
5. 事業の内容：	<p>治療薬を服用している患者を対象に事業を行った。事業に先立ち、三師会、行政による事業の提携調印式を行い、メディアを用いて住民への啓発活動とした。各行政及び三師会の医療機関・調剤薬局において啓発用ポスターの掲示し、行政、医療関係者を中心に講演会を開催。期間中（2週間）、調剤薬局において、対象者に歯周病のセルフチェックを実施し、歯周病の罹患が疑われる場合、歯科受診を促す。（チェックリスト配布枚数321枚）紹介された受診者に歯周病検診と進行状況に応じた治療を開始。歯周病治療を開始した患者の糖尿病主治医との糖尿病手帳による糖尿病連携パスを開始。（セルフチェックによる診療開始者2名、糖尿病手帳及び連携ツールの使用患者数60名）</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>① 広報の方法及び実施期間について 事業に参加する6機関の事業に関するコンセンサスを得るには、相応の時間が必要とした。今後の事業では、十分な検討期間を設定する必要がある。</p> <p>② 事業参加者に必要な歯周病に関する知識について 今回の事業においては、薬剤師が対象者と対応し、受診勧奨を行う方式であったが、効果的な受診勧奨を行うためには、糖尿病・歯周病との相互作用、特に、歯周病に関する知識が必須であった。次年度では、薬剤師を対象にした歯周病に関する研修会の開催が必要である。</p> <p>③ 受診行動に結び付けるため チェックリスト配布枚数321枚に対し、セルフチェックシートを持参者は、僅か2名であったが、既に歯科を受診している対象者も多く認められた。糖尿病手帳の発行数そのものが少なく、連携数の正確な調査法も課題となった。本事業の目的は、口腔に関心がない糖尿病罹患患者に、歯周病と糖尿病との相互作用を理解していただき、適切な歯科的介入がなされる環境を整備することで、糖尿病重症化予防の一助となることである。今後、さらに効果的な事業とするために、行政の広報誌等による歯周病の知識の普及、医療関係者、行政関係者への歯周病と糖尿病との相互作用の周知が重要となる。</p>

